

つながりがわかっていくこと

めまぐるしく動き、ちゃんと見ていない、ちゃんと聞いていない、スーパーなどで走り回っては陳列してある品物に触ったり、手に取ったり、落としてしまったりと、目が離せない、追いかけて回して止めるのが大変・・・というお子さんがいます。

一つのことが持続せず、次々と関心が移ってしまうので、これといったまとまった遊びになりにくいし、落ち着いて人とやりとりをするいとまもない、といった状態です。

このお子さんを見ていると、とてもめまぐるしく動くのですが、このようなお子さんにとっては、むしろ世界のほうがめまぐるしいのかもしれませんが、次々に目にとびこんでくるもの、耳にとびこんでくるものに気持ちが移ってしまい、気持ちの向けどころが定まらない、というような状態ではないでしょうか。

このようなお子さんは、賑やかなところとか、物がたくさん置いてあるところとか、人がたくさんいるところではなく、静かで落ち着いた環境の中においてあげることが大切です。その中で、興味に合わせてていねいに言葉をかけ、やりとりができるよう働きかけてみると、お子さんはその人に目を留め、そこに気持ちを傾けていき、自分はどうすればいいのか、どのように要求し、どのように応えればいいのかをわかっていくようになります。

このようなやり取りを通して、そのお子さんは、ばらばらでただ目まぐるしかった世界の中につながりとまとまりを感じ、人との間に安定した関係が持てるようになると考えられます。

(世田谷区発達障害相談・療育センター 相談・療育主幹 喜多 民子)

世田谷区発達障害相談・療育センター

開所日時 月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前9時～午後6時

利用方法 利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」』へお電話にてお申し込みください。
〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階
TEL 03-5727-2235（代表）
03-5727-2236（相談専用）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

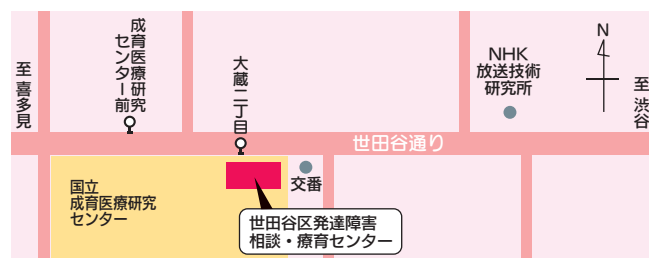
編集後記

子育て体験懇話会の参加者からは「先輩お父さん、お母さんの子育ての経験からの具体的なお話が聞けて参考になりました」との声をたくさん頂きました。率直にご自身の体験をお話して下さった講師の皆さま、ありがとうございました。

「発達障害の子の自立とは一人で立つことではなく、自分の得意なことについては上手に周りにSOSを出すこと、そのためには得意なこと、苦手なことを自分でわかっていることが大切」（母親編司会者：えじそんくらぶの高山恵子代表）とのアドバイスもありました。

SOSに気付き、そっと手を差し伸べ、サポートしていけるような社会になっていって欲しいと改めて感じました。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

- 東急バス・小田急バス
渋 24 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅
- 東急バス
都立 01 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口
等 12 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所
用 06 成城学園前駅 ↔ 用賀駅
- 小田急バス
渋 26 調布駅南口 ↔ 渋谷駅
- 東急コーチ
玉 31・32 二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

※駐車場はありません。

業務受託 社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋 1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>